

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小湊
		全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	12161 親子通園施設管理事業												
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課												
施 策	02020900 子育て環境の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030208 民生費・児童福祉費・親子通園施設費											
	事業	010000 親子通園施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
親子通園施設くれよんの適切な施設管理						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童に対して個別指導を行い、児童の育成を促すとともに、保護者への子育て支援を行うための親子通園施設の適正な管理を行う経費							

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
トイレ、網戸の修繕 保育室・訓練室カーペットクリーニング 小型給湯器購入	保育室・訓練室カーペットクリーニング 訓練用具等修繕 エアコン購入
平成29年度 実績	平成30年度 予定
保育室・訓練室カーペットクリーニング 訓練用具等修繕 施設内トイレ子ども用便座修繕	保育室・訓練室カーペットクリーニング 訓練用具等修繕 エアコンクリーニング
平成31年度 予定	平成32年度 予定
保育室・訓練室カーペットクリーニング 訓練用具等修繕	保育室・訓練室カーペットクリーニング 訓練用具等修繕

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		225	270
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		225	270
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.1
	臨時職員	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	714.9	0.0
	嘱託職員	0.0	276.6
	臨時職員	0.0	117.9
	計	714.9	394.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		939.9	664.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	171	光熱水費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	54	保育室・訓練室カーペットクリーニング

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	198	光熱水費176、修繕料22
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	72	保育室・訓練室カーペットクリーニング手数料等62、訓練用具等修繕用材料費等10

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	心身に障がいがある児童や発達に支援を必要とする児童とその保護者に対する総合的な育成支援を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	心身に障がいがある児童や発達に支援を必要とする児童とその保護者にとって大変有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の経費で管理運用されている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適切な維持管理ができた。
施設内トイレ子ども用便座も修繕ができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
障がいのある幼児が、親子で安心安全に機能訓練等ができるよう、施設を適切に維持管理していく必要がある		親子通園施設の適切な管理が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	